



本県より、北富士柔道スポーツ少年団、孝道塾が出場。惜しくも入賞はなりませんでしたが、静寂した会場の中、日ごろの稽古の成果を十分に發揮した見事な演武を披露しました。上位入賞チームは、大人に勝るとも劣らない素晴らしい演武で、小学生の著しい技術の向上を実感した大会でありました。



## 厚生労働大臣旗争奪 第40回日整全国柔道大会

本県より、大澤正英総務部長が、中関東チーム監督を務めました。初戦、東海東部チームを1-1の代表戦の末勝利、準々決勝、大阪チームを2-1で勝利し、準決勝進出。準決勝は北信越西部チームと対戦。善戦するも0-3で惜しくも敗退でしたが、埼玉県新井伸章会員が見せた見事な内股透かしをはじめ、中関東チーム各選手の気迫のこもった試合を目の当たりにし、来年こそは念願の初優勝をもたらしていただけることを期待しております。

また、小学生の皆様には普段の稽古に加え、形の稽古にも積極的に取り組んでいただき、全国でも山梨県の小学生が活躍することを期待します。



## 編集後記

平成28年10月の料金改定はあったが、平成20年頃より接骨院、整骨院などの施術所数の増加、それに伴い請求書数の増加も確認されているにも関わらず平成24年から療養費総額がマイナスとなっています。このマイナスの最大の原因是療養費請求書1枚あたりの単価であります。料金改定の際に実施された傷病数、多部位の料金の遞減によってもたらされた現象であったのです。厚生労働省は増え続ける柔道整復師と施術所の数に対して、療養費削減策を繰り返し実施したのです。

今後、部位別請求の遞減強化、長期遞減強化に対応できる強い力が必要ではないかと思います。さらに患者の受診抑制に繋がる柔整レセプトの二次点検にも対応策をとらなければなりません。今後、我が会発展のためにも、コンプライアンス、自浄努力が必要となり、今この業界で何が起きているのか、何をしなければならないのか会員一人ひとりが真剣に考える必要があると思います。

皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

総務部長 大澤 正英

発行	公益社団法人山梨県柔道整復師会
発行責任者	清水 隆
編集責任者	大澤 正英 甲府市中央4丁目12-21
連絡先	TEL 055-232-5487 FAX 055-232-5482 http://www.yamasei.or.jp



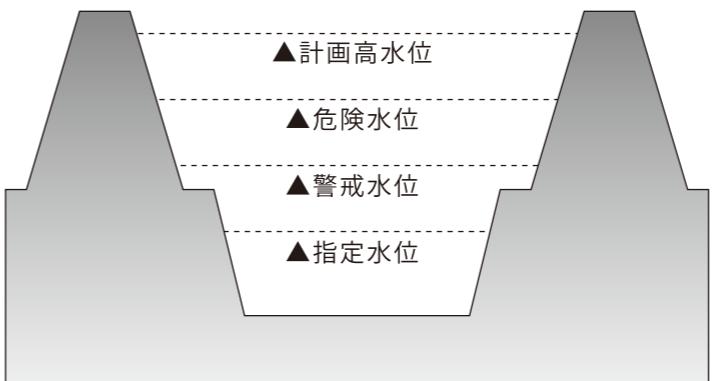
## 防災

### ○洪水予報の種類と基準

#### ●洪水予報の発表基準>>>>

種類	発表基準
洪水注意報	基準地点の水位が警戒水位を超え、なお、水位上昇により災害の発生するおそれのあるとき、又は、警戒水位を超える洪水となることが予想されるとき。
洪水警報	洪水により重大な損害を生じるおそれがあるとき。基準地点(池田、岩津)の水位が危険水位程度若しくは、危険水位を超える洪水となることが予想されるとき。
洪水情報	洪水注意報及び洪水警報の補足説明、又は、軽微な修正をおこなうとき。

#### ●河川の水位>>



#### ●水位の種類>>

種類	内容
計画高水位	この水位を超えると、重大な被害が発生する可能性があります。
危険水位	洪水によるはん濫などの危険が生じる水位です。
警戒水位	水害に備えて消防団などの水防機関が出勤し、警戒にあたる水位です。
指定水位	消防団などの水防機関が、水防体制に入る目安となる水位です。

### ○降雨に関する注意報・警報の発表基準

大雨注意報	
大雨によって災害が起こるおそれがあり、次のいずれかが予想される場合。	
1時間雨量	30mm以上
3時間雨量	50mm以上
24時間雨量	100mm以上

洪水注意報	
大雨、長雨などによる洪水によつて災害が起こるおそれがあり、次のいずれかが予想される場合。	
1時間雨量	30mm以上
3時間雨量	50mm以上
24時間雨量	100mm以上

大雨・洪水警報	
大雨、長雨などによる洪水によつて重大な災害が起こるおそれがあり、次のいずれかが予想される場合。	
1時間雨量	50mm以上
3時間雨量	80mm以上
24時間雨量	200mm以上

## ● 雨の強さの目安

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	強烈な雨
<b>1時間に 10~20mm</b> ザーザーと降り、地面一面に水たまりができる程度の雨。 長く続くときは注意が必要です。	<b>1時間に 20~30mm</b> どしゃ降りの雨で傘をさしても濡れてしまうほどです。 大小の水路があふれることもあります。	<b>1時間に 30~50mm</b> バケツをひっくり返したような雨。山崩れ、がけ崩れが発生しやすくなります。	<b>1時間に 50~80mm</b> 滝のように降り、先が見えないほど。地下室に雨水が流れ込む場合があります。 また、土石流などの災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。	<b>1時間に 80mm以上</b> 息苦しくなるような圧迫感があります。 雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

## ● 避難のポイント

<b>《避難する前に!》</b> 避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難所を確認しましょう。 また、親戚・知人などに避難する連絡をしておきましょう。	<b>《足元に注意》</b> 水面の下には、マンホール、側溝などの危険が潜んでいます。長い棒を杖に、安全を確かめながら歩きましょう。また、夕方以降は懐中電灯をお忘れなく。	<b>《歩ける深さ》</b> 水の流れる速さにもよりますが、歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmです。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救助を待ちましょう。
<b>《避難コースは知っている道を》</b> 低地・がけ下・川沿いなどは、できるだけ避けて避難しましょう。	<b>《できるだけ軽装で》</b> 荷物は、できるだけ整理し、背負いましょう。	<b>《子供やお年寄りを安全に》</b> はぐれないように、注意して避難しましょう。また、お年寄りや病人は背負い、幼児は浮袋を利用しましょう。特に子どもからは目を離さないように。

資料提供 徳島県防災センター

## 介護保険制度とともに歩み、協力する

総務部長 大澤 正英

介護保険制度が始まった2000年の介護給付費は3.6兆円でしたが、現在は10兆円を超え、今後、団塊の世代の方が75歳以上となる2025年には倍の20兆円になる見込みです。将来に向けて財源不足が深刻になると思います。3年に1度の介護報酬の改正は、内容や支え方が変わってきました。これから日本の目指す体制は、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく生活ができるよう「介護」「医療」「予防」「住まい」「生活支援」の分野が連携をして在宅生活を支援する「地域包括ケアシステム」に変わってきます。全国一律に行われていた介護予防は、平成27年度から介護総合事業へ3年かけて、それぞれの地域の実情に合わせた市町村単位での事業へ移管され、ボランティア等の活動も期待され、本会としては、市町村の一般介護事業へ協力し柔道整復師として転倒、骨折予防体操、認知症予防(脳トレ)、運動での生活改善等の体操教室を開催し、各地域で安心し満足して喜んで貰えるように努力していきたいと考えています。

## 向山一夫相談役

### 平成28年度春の叙勲 旭日双光章受章祝賀会



平成28年9月25日、秋晴れの中、笛吹市石和町松本「石和名湯館 糸柳」にて、向山一夫相談役 平成28年度春の叙勲 旭日双光章受章祝賀会が盛大に開催されました。向山相談役におかれましては、この度の受章、誠におめでとうございます。

このうえない栄誉とお喜び申しあげます。今後ともご健康で、尚一層のご活躍を祈念いたします。

#### 旭日双光(雙光)章とは

春の叙勲、秋の叙勲で知られ、天皇陛下より授与される勲章の一種で、数ある勲章の中の「旭日章」の一種。

旭日双光章は、以前は「勲五等双光旭日章」という名称でしたが、栄典制度の改正(2002年)により、現在の名称へ変更となりました。

日本の勲章には、菊花章、桐花章、旭日章、瑞宝章、宝冠章、文化勲章の6種類があります。その中で旭日章は、「国家または公共に対し功労のある者」を対象とし、かつ「社会の様々な分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者を表彰する場合に授与するもの」とされ、様々な分野で多大な貢献をされた方に授与されます。様々な分野の中で、「国民の健康または公衆衛生の向上及び増進に寄与した者」も対象とされています。春秋の叙勲で同格とされる瑞宝章が「長年の功績の積み重ねに着目」しているに対し、旭日章は、その功績に着目して与えられるのが特徴です。公職では、政令市以外の市長、県議、市議など、公益団体では都道府県の長などから各省庁の推薦により、内閣により選定決定され、皇居にて天皇陛下に拝謁し、授与されます。

相談役 向山一夫先生は、多年にわたる地域住民への保健衛生の推進と、柔道整復師会での業界の発展に寄与された功績が評価され「保健衛生功労」として、受章されました。

大澤 正英

平成28年10月9日、東京都文京区春日の講道館に於いて、公益社団法人日本柔道整復師会の主催のもと、表記大会が開催されました。

事業部長 渡辺 直也

## 支那科学大臣杯争奪 第25回日整全国少年柔道大会

本県より5名の代表選手が大会に臨みました。初戦、強豪福井県チームと対戦、先鋒戦を落とすも次鋒中堅が2点連取、副将大将が踏ん張り引き分け、2-1で初戦突破。続く2回戦、優勝候補第1シードの茨城県と対戦、善戦するも0-4で敗れてしまいましたが、優勝候補に勝るとも劣らない試合内容で、年々、山梨県の小学生のレベルがとても向上してきていくことを実感した大会がありました。

